

標準化 TF
属性項目解説書
0.共通

2025. 03. 10

標準化 TF

目次

I. この解説書について	1
II. 共通事項.....	2
1. 標準属性項リストの見方【フィルタセット】.....	2
1-1. 検討チーム	2
1-2. 階層 1-1~5 2-1~5	3
1-3. 区分 1~5	4
2. 標準属性項目リストの見方【共通フィールド】.....	6
2-1. 属性 ID	6
2-2. 属性項目名（日本語）	6
2-3. 属性項目名（英語）	7
2-4. データタイプ	7
2-5. 単位.....	8
2-6. 入力値（参考値）	8
2-7. 属性項目説明	9

3. 標準属性項目リストに表現していないフィールド【個別フィールド】	9
3-1. ユースケースとステージと役割区分と詳細度	9
4. 標準属性項目リストの EXCEL 版の見方	10
4-1. 標準属性項目リストの EXCEL データの使い方	10

I. この解説書について

この解説書は、別紙標準属性項目リストの内容のうち意匠・構造・設備に共通する部分を解説したものになります。その構成は以下のようになっています。

II. 共通事項

標準属性項目リストの見方について、フィールドを中心に解説しています。

今回公開する標準属性項目リストは一つの区切りとしての成果品となります。しかし、これで全てが完了したわけではありません。今後も様々な検証や、社会実装していく過程からのフィードバックなどを適切に標準属性項目リストに反映していくことが必要になると思います。この解説書が、このような検証、フィードバック、改訂などを行いやすくするために役立つことを願っています。

II. 共通事項

標準属性項目リストの見方について、フィールドを中心に解説します。

別紙概要書に説明している【フィルタセット】、【共通フィールド】、【個別フィールド】ごとに解説します。

1. 標準属性項目リストの見方【フィルタセット】

1-1. 検討チーム

このフィールドが示しているものは、ただ検討を行ったチームを示しているだけです。その値として‘意匠’が入力されていたとしても、その行のデータが意匠のみに利用されることを示しているものではありません。情報連携の過程では、あるステージで意匠が入力した値を、次のステージで設備や構造で利用したりすることはよくあることです。さらに属性項目によっては、引継ぎを行いその値の更新を別の関係者が行うなど様々なことが考えられます。

今回は 意匠・構造・設備 の3つの値が入力されています。施工に関しては別のシートとしているため今回は入力されていませんが、今後同じフォーマットにしていく予定です。

この検討チームのフィールドの使い方としては、どこの検討チームが整理した属性項目なのかをフィルタリングしたり、ソートしたりするときに主に活用することができます。

1-2. 階層 1-1~5 2-1~5

当標準化 TF は、オブジェクトの分類体系を検討する TF ではありません。但し、属性項目が何のオブジェクトのものなのかを整理しておかないと、検討や確認をすることが困難となります。そこで TF で仮に定めた階層 1 と階層 2 の概要を下図に示します。また、同じ階層（列）にあるからと言って分類体系として同じ階層にあることを示してはいません。あくまで、属性項目の閲覧性及び検索性を高めるために付与した階層設定となります。

階層 1-1	階層 1-2	階層 1-3	階層 1-4	階層 1-5	階層 2-1	階層 2-2	階層 2-3	階層 2-4	階層 2-5
ドア	片開き戸				枠				
りんご	ふじ				表皮				

各階層の 考え方	オブジェクトの 種類 を示す階層	オブジェクトの 部分 を示す階層
	Type of	Part of
	A is a type of B AはBの一種です。	A is part of B AはBの一部です。
ドアの例	片開き戸(A)はドア(B)の一種です。	枠(A)はドア(B)の一部です。
リンゴの例	ふじ(A)はりんご(B)の一種です。	表皮(A)はりんご(B)の一部です。

識別情報	各オブジェクトの識別に関する情報
寸法情報	各オブジェクトの大きさに関する情報
材料情報	各オブジェクトの材料に関する情報
性能情報	各オブジェクトの性能に関する情報
図面情報	各オブジェクトの図面を参照する情報
配置情報	各オブジェクトの位置に関する情報
形状情報	各オブジェクトの形状に関する情報
法規関連情報	各オブジェクトの法規に関する情報
付属・付帯情報	各オブジェクトの付属品や付帯するものに関する情報
工法情報	各オブジェクトの工法に関する情報
.....	

2. 標準属性項目リストの見方【共通フィールド】

2-1. 属性 ID

属性項目に対し、固有で付与する ID であり、属性項目説明にて ID の位置づけを判断する最重要フィールドです。

この ID に意味は持たせていません。

2-2. 属性項目名（日本語）

属性項目名の日本語を入力しています。ここに入力している値には同じ名称のものも含まれています。それらは前述の階層 1-1~5 2-1~5 で整理されて、それぞれ個別の意味を持っていることが示されています。この属性項目名は BIM 設計業務での活用を前提として整理を行っています。名称ルールを適切に整理することを目指しましたが、名称に多様な要素が含まれるため、まずは階層による整理を優先することにしました。また入力する際の最低限のルールとして以下の表を定めています。

ルール	説明
全角・半角の使い分けは説明欄の通りにする。	日本語(漢字、ひらがな、カタカナ)はすべて全角とする 英数字記号はすべて半角とする
説明欄に挙げた禁則文字は利用しない	/ ? < > ¥ : * ",
区切りにスペースは使わない。	代わりにアンダーバー_を利用する

<p>使用する用語が複数ある場合は、以下の書籍の用語を基本とする。</p> <p><input type="checkbox"/>建築基準法 <input type="checkbox"/>公共建築工事標準仕様書</p> <p><input type="checkbox"/>建築物の構造関係技術解説書</p>	<p>がらすを【硝子】、【ガラス】のどれを採用するか迷った場合は、【ガラス】とする。</p>
---	--

2-3. 属性項目名（英語）

属性項目名（日本語）の英訳を入力する予定です。今後、何のための英語表記であるかを整理し、必要があれば入力していく予定です。

2-4. データタイプ

属性項目の情報特性を示します。データベースやプログラムでの実装を想定した分類であり、より詳細な分類が必要になる可能性はありますが、現時点での基本的な整理として

以下の表のとおり設定しています。

テキスト	文字として記述、分数などの表記も含む
整数	整数で表記する
実数	実数で表記する
Boolean	True/False で表記する
選択項目	選択肢の中から、文字列や数値(整数、実数)を選ぶもの

2-5. 単位

属性項目に対する単位を示します。ここでは参考に意匠で利用した単位を示します。

kg	min	N/m ²	個	本	
%	kg/m ³	mm	t/m ³	時間	
°C	l	mm/10min	N/mm ²	人	
cm	m	mm/h	V	人/h	
G	m/min	N	W/m ² ・K	度	
Hz	m ²	N/m	箇所	年	

2-6. 入力値（参考値）

「入力値」にはそれぞれ項目をよりわかりやすくするために、属性項目に記載される値の一例を示します。

- 文字列の場合は自由記述ですが、一例を示しています。候補例は「, 」区切りで表示しています。文字列型であっても、型鋼の呼び名などの場合は単位を表記しています。
- 選択項目の場合は、選択項目を「/」で分けています。選択項目でも数値(整数、実数)が記載される場合は単位を表記しています。
- 整数・実数の場合は、数値を入力する。入力の際に「, 」区切りは行いません。
- Boolean の場合、「有/無」「はい/いいえ」などは「True/False」に表現を統一しています。

2-7. 属性項目説明

属性項目はそれだけを見ても対象やその内容がわからない場合があり、これを補足するために「属性項目の説明」を記載しています。

3. 標準属性項目リストに表現していないフィールド【個別フィールド】

個別のフィールドは、今回の標準属性項目リストには記載していませんが、以下に示すフィールドについて検討中です。

3-1. ユースケースとステージと役割区分と詳細度

ユースケースとステージと役割区分と詳細度は、想定されるユースケースで、「いつ」「誰が」「どのような情報」が必要かを整理するときに必要となってきます。それぞれは一意には決まらないことから標準属性項目リストと同一のテーブルで示すよりも別のテーブルで示したほうがより整理しやすいと考えています。（MET など）そのテーブルをどのように整理すべきかは今後の検討課題となっています。

4. 標準属性項目リストの EXCEL 版の見方

標準化タスクフォース「I .属性情報の標準化」の整備の中で、ロングリストとして属性項目を網羅的にまとめました。

標準属性項目リストの pdf は、ロングリストとして属性項目を網羅的にまとめたものですが、事前に意見照会した際にもご意見いただきました通り、閲覧性や検索性に不向きです。

標準属性項目リストの Excel 版は、閲覧性及び検索性を高めるためにフィルタセットを付与したものです。

今後は何かしらのシステムとの連携を検討しておりますが、まずは Excel リストとしてご活用ください。

4-1. 標準属性項目リストの EXCEL データの使い方

1 フィルターセットの表示



1							
2	A	C	B	I	N	S	T
1	検討チー	階層1-1	階層2-1	区分1	共通ID	属性項目名 (日本語)	属性
2	意匠	エキスパンションジョイント		識別情報		EXPJタイプ	
3	意匠	エキスパンションジョイント		識別情報		EXPJタイプ	
4	意匠	エキスパンションジョイント		識別情報		EXPJタイプ	

フィルターセットについては、構成ごとにグループ化しています。

リスト上部のプラスボタン (+) を押下することで表示可能です。

2 フィルターセットの使い方

例) 意匠壁の性能のパラメータを確認したい 場合

1. 「検討チーム」フィールドのプルダウンにて、「意匠」を選択する
2. 「階層1-1」フィールドのプルダウンにて、「壁」を選択する
3. 「区分1」フィールドのプルダウンにて、「性能情報」を選択する
4. 性能に関わる属性項目のリストが確認できる

The screenshot shows three panels illustrating the filter selection process:

- Panel 1:** The '検討チーム' (Study Team) dropdown is set to '意匠' (Decorative). The search results show '意匠' selected.
- Panel 2:** The '階層1-1' (Level 1-1) dropdown is set to '壁' (Wall). The search results show '壁' selected.
- Panel 3:** The '区分1' (Division 1) dropdown is set to '性能情報' (Performance Information). The search results show '性能情報' selected.

On the right, a table shows the resulting attribute list:

区分1	共通ID	属性項目名 (日本語)
1479		意匠性能
1480		耐圧性能
1481		耐火性能
1482		性能情報

Notes:

- どの階層に含まれるか不明、もしくは想定した階層に対象がない場合
「属性項目名 (日本語)」や「属性項目説明」フィールドから関連しそうなワードを検索してみてください
- 構造に関連するもののみ抜き出したい場合
「検討チーム」フィールドをプルダウンして、「構造」でフィルターをかけてみてください